

2026年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明資料



松田産業株式会社

2025年11月26日



松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.



本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を負うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

＜お問い合わせ先＞

松田産業株式会社
CSR・IR部

お問い合わせフォーム : <https://www.matsuda-sangyo.co.jp/ja/contact/contact4.html>

1. 連結決算の概要
2. セグメント別の業績と通期見通し
3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

Appendix

1. 連結決算の概要



松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

貴金属関連事業における増収増益、食品関連事業における増収増益を受け、
 売上高及び営業利益は前年同期比で増加

(億円)

	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期	増減	
売上高	2,221	2,882	+660	+29.7%
営業利益	62	80	+17	+28.4%
営業利益率	2.8%	2.8%	▲0pt	-
経常利益	65	84	+18	+28.3%
中間純利益	46	60	+14	+31.7%

連結貸借対照表

【資産の部】			(億円)	
	2025年3月末	2025年9月末	増減	主な増減要因
流動資産	1,161	1,272	+110	(+) 受取手形及び売掛金、棚卸資産の増加
固定資産	527	554	+27	(+) 工場設備の新設
資産合計	1,689	1,827	+138	
【負債の部】				
	2025年3月末	2025年9月末	増減	主な増減要因
流動負債	486	534	+47	(+) 買掛金、前受金の増加 (-) 短期借入金の返済
固定負債	201	265	+63	(+) 長期借入金の増加
うち有利子負債	333	365	+31	
負債合計	687	799	+111	
【純資産の部】				
	2025年3月末	2025年9月末	増減	主な増減要因
純資産合計	1,001	1,027	+26	(+) 利益剰余金の増加 (-) 繰延ヘッジ損益の減少
負債純資産合計	1,689	1,827	+138	
自己資本比率	59.1%	56.0%		

○ 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期	当期の主な増減要因
営業キャッシュ・フロー	24	36	(+) 税金等調整前中間純利益、減価償却費、仕入債務の増加 (-) 売上債権、棚卸資産の増加、法人税等の支払い
投資キャッシュ・フロー	▲24	▲25	(-) 有形固定資産の取得による支出
フリー・キャッシュ・フロー	0	11	
財務キャッシュ・フロー	▲11	13	(+) 長期借入金の増加 (-) 短期借入金の返済、配当金の支払い
その他	4	▲3	
現金及び現金同等物の増減	▲7	22	
現金及び現金同等物の期末残高	137	136	

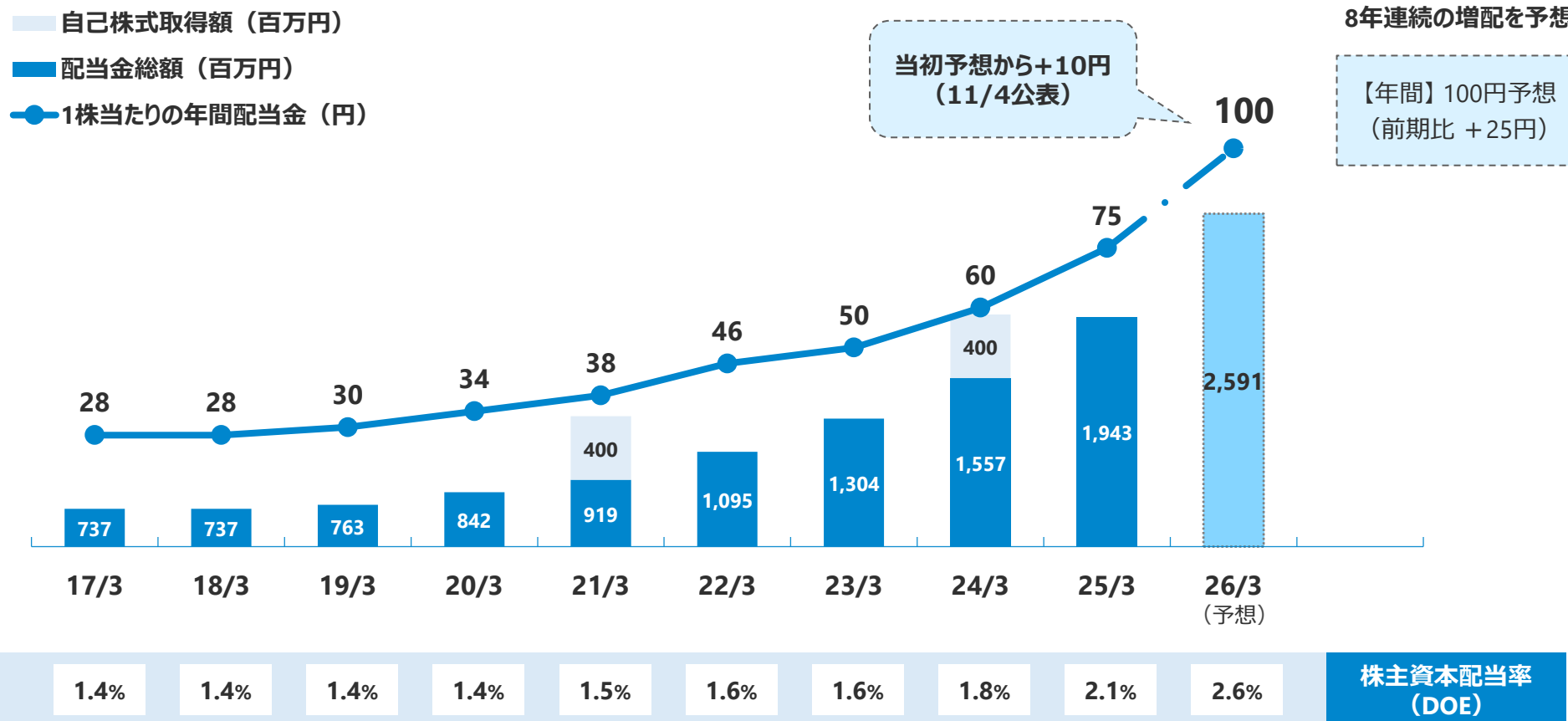
2026年3月期通期の業績予想について、5/9公表値から下記の通り上方修正

(億円)

	2025年3月期 実績	当初予想 (5/9公表)	修正予想 (11/4公表)	対当初予想	対前期実績
売上高	4,688	4,900	5,500	+600	+17.3%
営業利益	126	135	154	+19	+21.5%
営業利益率	2.7%	2.8%	2.8%	+0pt	-
経常利益	135	143	162	+19	+19.8%
当期純利益	94	100	115	+15	+21.6%
1株当たり当期純利益 (円)	364.87	385.84	443.72	+57.88	+21.6%

株主還元

- 成長投資の為に内部留保とのバランスを考慮しつつ、安定且つ持続的な配当を実施
- 株主資本配当率1.5%以上を目安とした還元
- 市場環境を勘案した機動的な自己株式取得



2. セグメント別の業績と通期見通し

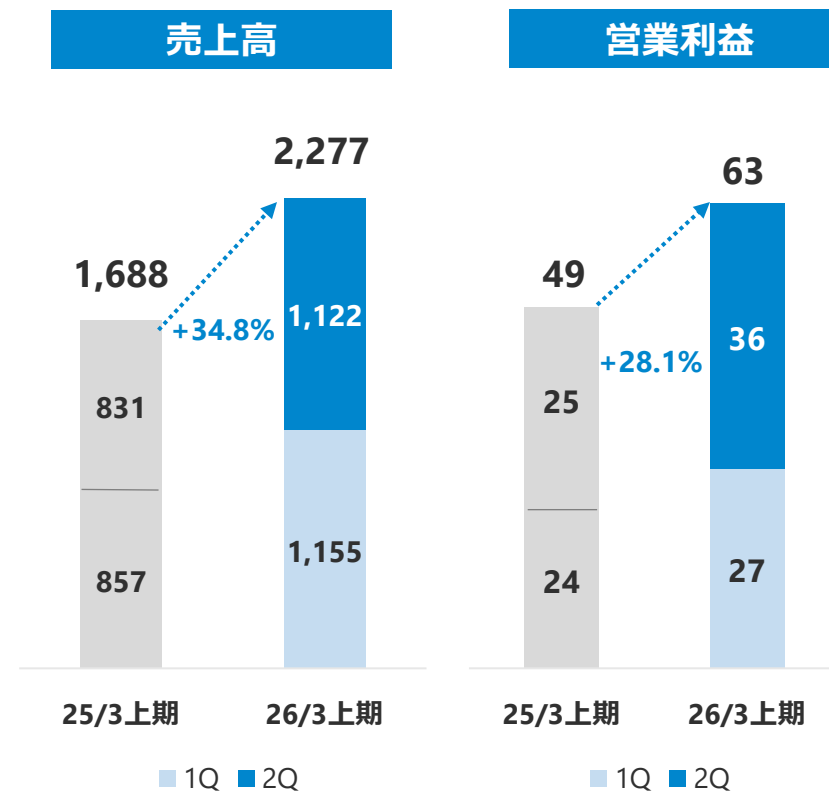


セグメント別の業績（貴金属関連事業）

宝飾分野を含めた貴金属リサイクル取扱量の増加、貴金属相場の上昇が追い風となり、
売上高及び営業利益は前年同期比で増加

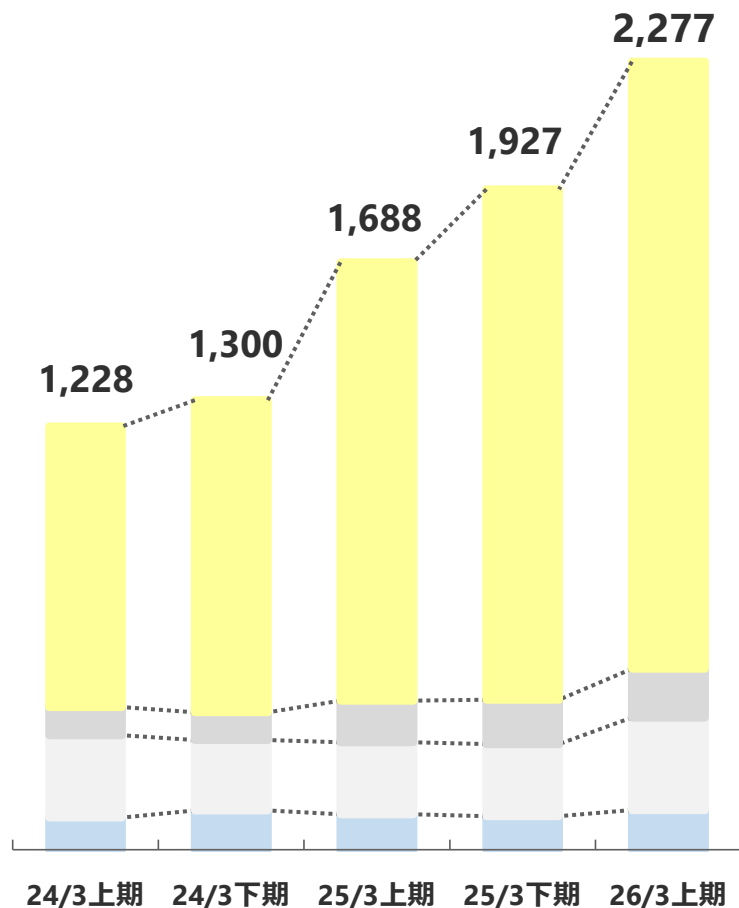
（億円）

	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期	増減	
売上高	1,688	2,277	+588	+34.8%
営業利益	49	63	+13	+28.1%
営業利益率	2.9%	2.8%	▲0.1pt	-



品目別売上高の推移（貴金属関連事業）

貴金属価格の上昇や、宝飾分野を含めた貴金属リサイクル量増加による金製品の増収が大きく貢献し、
全体の売上高は前期同期比＋588億円



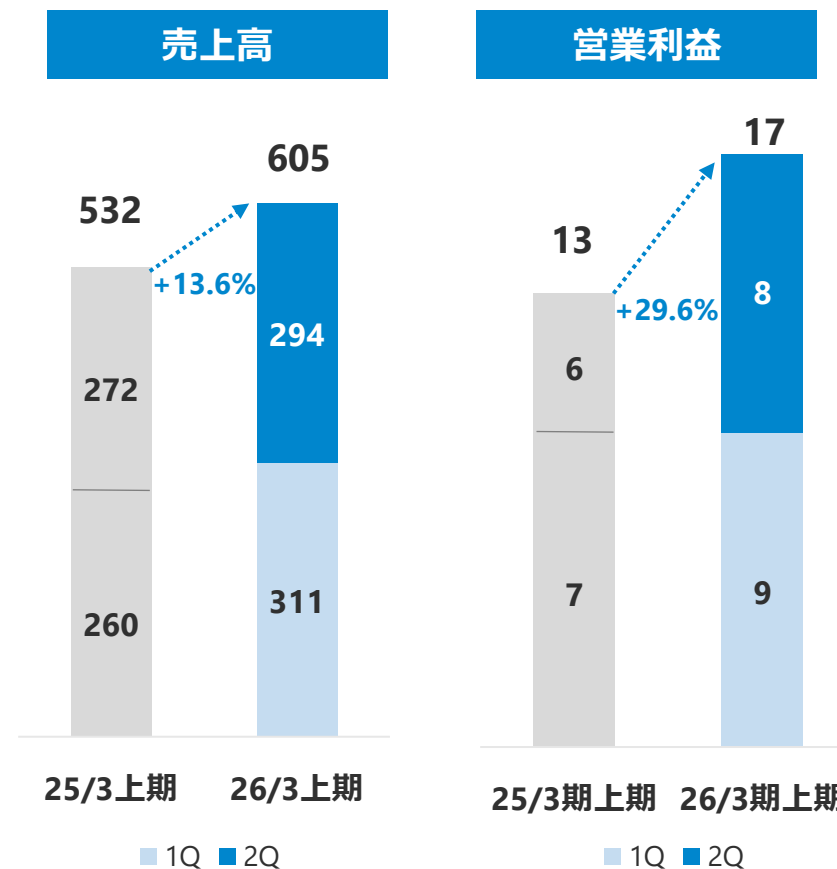
(億円)				
	26/3上期	増減		増減要因
金	1,759	+489	+38.5%	数量要因 +4.1%、価格要因 +34.4%
銀	141	+19	+16.1%	数量要因+0.7%、価格要因 +15.4%
白金族	268	+60	+29.0%	数量要因+14.4%、価格要因+14.5%
その他	107	+18	+21.2%	(非鉄、産廃処理 他)

セグメント別の業績（食品関連事業）

水産品の販売量は減少したものの、畜産品・農産品の販売量増加や販売価格の上昇により、
売上高及び営業利益は前年同期に比べ増加

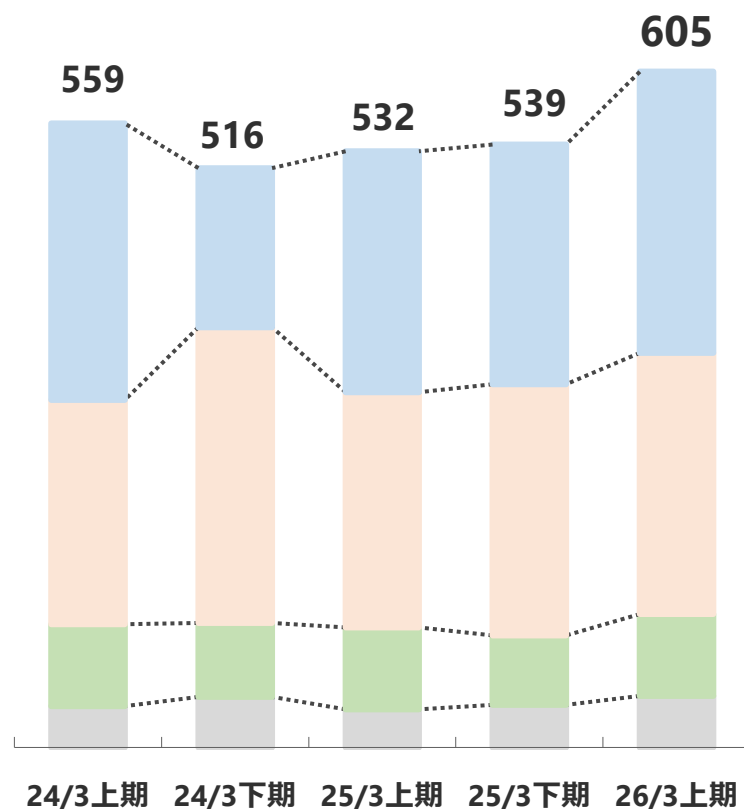
	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期	増減	
売上高	532	605	+72	+13.6%
営業利益	13	17	+3	+29.6%
営業利益率	2.5%	2.9%	+0.4pt	-

（億円）



品目別売上高の推移（食品関連事業）

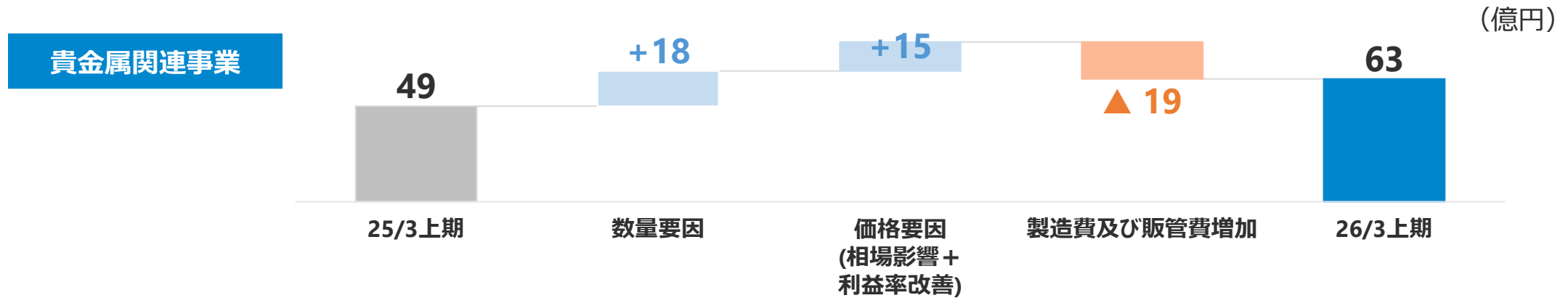
水産品の販売量は減少したものの、畜産品・農産品の販売量は増加し、
全体的に販売価格が上昇したことから、売上高は前年同期比+72億円



(億円)				
	26/3上期	前年同期比増減		増減要因
水産品	233	+22	+10.9%	数量要因▲0.9%、価格要因+11.8%
畜産品	251	+36	+17.0%	数量要因+8.2%、価格要因+8.7%
農産品	73	+0	+1.0%	数量要因+1.4%、価格要因▲0.4%
その他	46	+12	+36.4%	-

○ 営業利益の増減

貴金属関連事業は、電子デバイス分野での緩やかな数量改善、宝飾分野での数量増加、金相場上昇が貢献
食品関連事業は、販売量が増加し、コスト適正化や価格転嫁などで利益率を改善



セグメント別の業績予想について、以下の通り修正

(億円)

	2025年3月期 実績	当初予想 (5/9公表)	修正予想 (11/4公表)	対当初予想	対前期実績
貴金属 関連事業	売上高	3,616	4,300	+600	+18.9%
	営業利益	101	124	+14	+21.8%
食品 関連事業	売上高	1,072	1,200	-	+11.9%
	営業利益	24	30	+5	+20.1%
合計	売上高	4,688	5,500	+600	+17.3%
	営業利益	126	154	+19	+21.5%

	貴金属関連事業	食品関連事業
26年3月期 業績予想	売上高 4,300億円（前期比 +683億円） 営業利益 124億円（前期比 +22億円）	売上高 1,200億円（前期比 +127億円） 営業利益 30億円（前期比 +5億円）
外部環境と数量（下期）	- 電子デバイス分野の生産状況は、半導体・電子部品の需要改善に伴って緩やかに回復 - 宝飾分野からの貴金属リサイクル取扱量は、好調継続 ➤ 貴金属リサイクル取扱量、製商品販売数量は増加	- 原料価格の上昇など、物価上昇による個人消費の節約志向は継続 - 顧客ニーズの多様化はさらに進む ➤ 畜産品、農産品を中心に販売数量は増加
販売価格（下期）	貴金属相場：25年9月平均並み	26年3月期の上期平均価格程度を想定

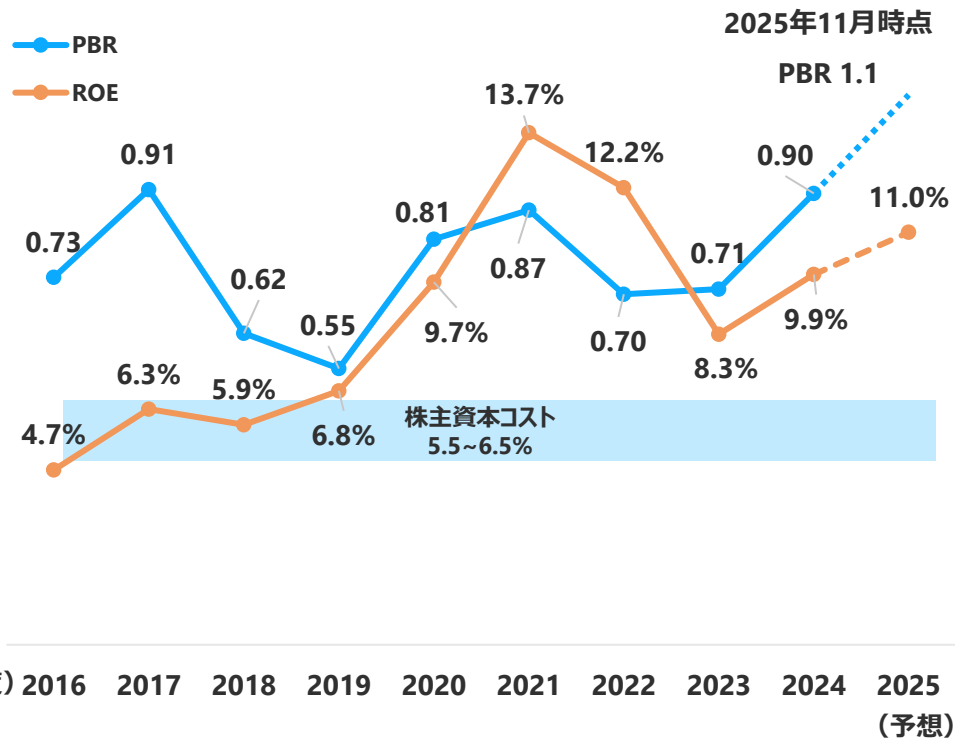
3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて



松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

株主資本コストを上回るROEを達成、PBRは1.0倍以上 足元では、資本収益性が向上

PBR・ROE・株主資本コストの推移



- 2025年度予想では、業績の拡大と併せて、ROEは11%となり、当社の株主資本コスト（5.5~6.5%で推移）を大きく上回る水準に
- 2025年9月末時点でPBRは1倍を超え、現時点で1.1倍程度まで改善
- PBR1倍以上の維持・改善
PBRの改善に向けた課題は、資本収益性の低下を抑え改善に繋げるための「資本効率の向上」と、投資家及び株主への「成長期待の醸成」と認識する

方針

PBR改善に繋がる資本収益性の向上に向けて、中期経営計画の着実な推進で経営目標の達成を目指すとともに、「資本効率の向上」と「成長期待の醸成」を重要課題として、施策の実行に取り組む

中期経営計画（2022～2025年度）

（2025年度見通し）

売上高
5,500億円

営業利益
154億円

営業利益率
2.8%

ROE
11.0%

ROA
9.3%

<基本方針>

貴金属関連事業 & 食品関連事業の両事業を成長の牽引役とし...

- 積極投資の継続で収益基盤強化と新規収益源の創出
- 持続的成長を支え、加速させる経営基盤の強化
- ESG経営の推進で企業価値向上

貴金属関連事業

資源循環(活用)を創造する
リーディングカンパニー

食品関連事業

お客様の商品開発の
ベストパートナー

経営基盤強化

（重要課題と施策）

資本効率 の向上

ROIC経営の推進

ROICを指標とした経営管理を今後導入し、各事業の資本効率向上を目指す

資本政策の的確な実行

財務健全性の確保を考慮しつつ、将来の資本収益性向上に繋がる事業投資と、株主還元の充実にに向けた政策を実行する

成長期待 の醸成

IR活動の強化

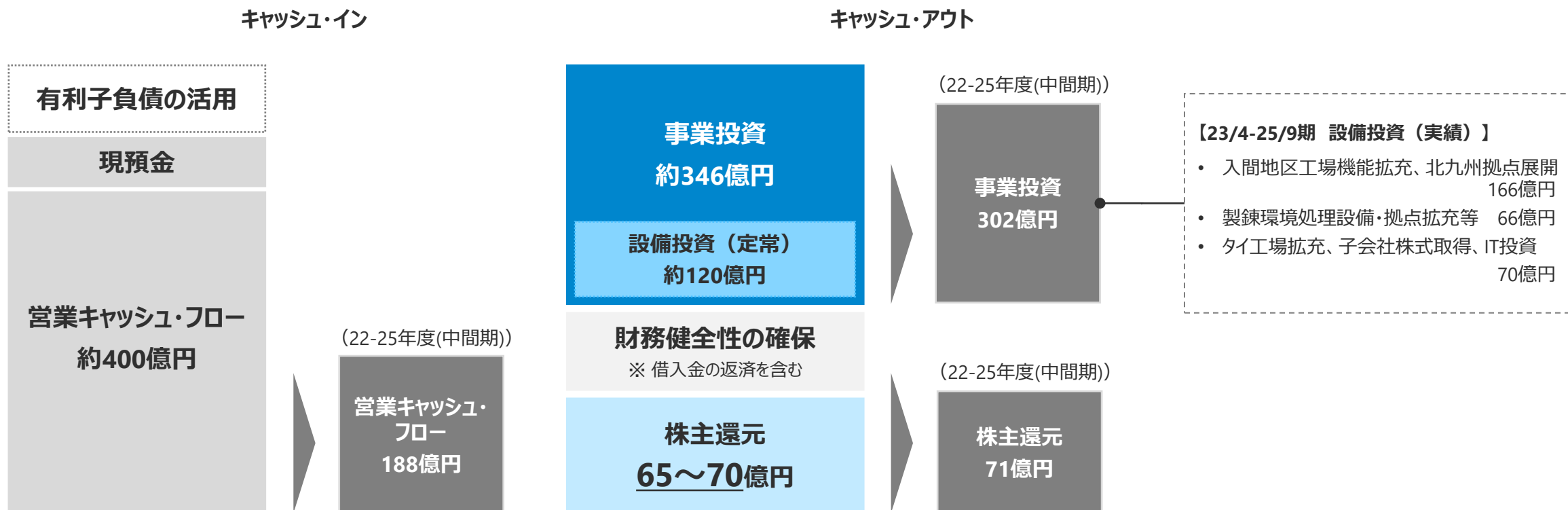
投資家・株主に向けて、持続的成長のシナリオや競争優位性、サステナビリティ課題への取り組みなどを分かりやすく伝え、対話し、意見を経営に活かす

重要課題	施策	進捗
資本効率の向上	ROIC経営の推進 ROICを指標とした経営管理を今後導入し、各事業の資本効率向上を目指す	- 資本効率向上に向けた議論を継続 - 食品事業ではPSI管理強化による在庫回転率の改善を実行中
	資本政策の的確な実行 財務健全性の確保を考慮しつつ、将来の資本収益性向上に繋がる事業投資と、株主還元の充実にに向けた政策を実行する	2022-2025年度（中間期） 【営業 CF】 188／400億円 【事業投資】 302／346億円 【株主還元】 71／65-70億円
成長期待の醸成	IR活動の強化 投資家・株主に向けて、持続的成長のシナリオや競争優位性、サステナビリティ課題への取り組みなどを分かりやすく伝え、対話し、意見を経営に活かす	- 決算補足説明資料と英文開示を拡充 - 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた現状と課題について取締役会で議論 - 新たな対話機会として、投資家協働対話の実施、スモールミーティングを計画

資本政策 (基本方針)

成長性を捉えた事業機会への最適資源配分、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮し、持続的に企業価値を向上させる

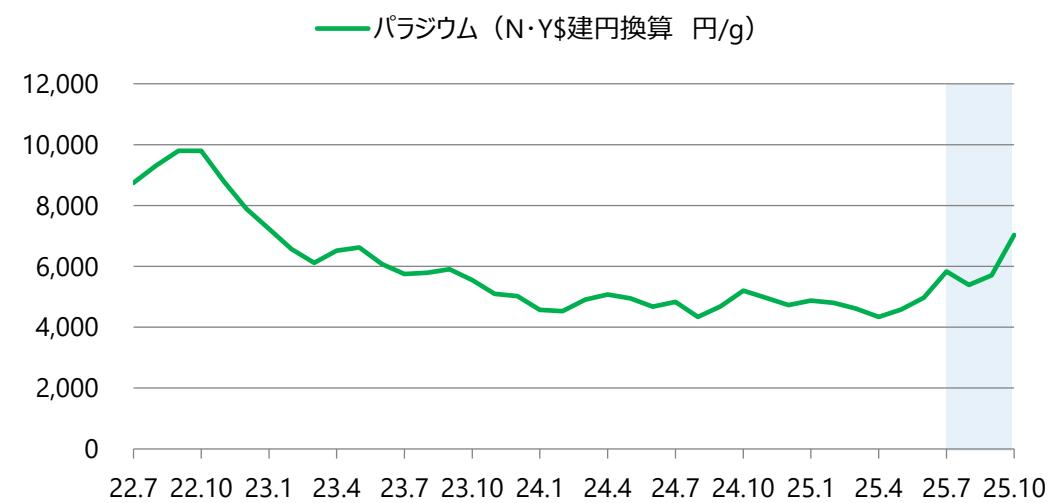
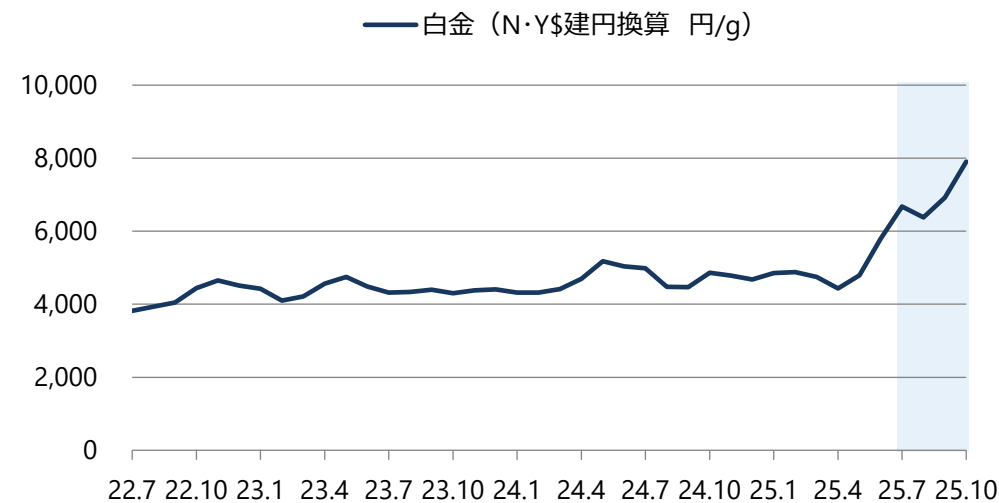
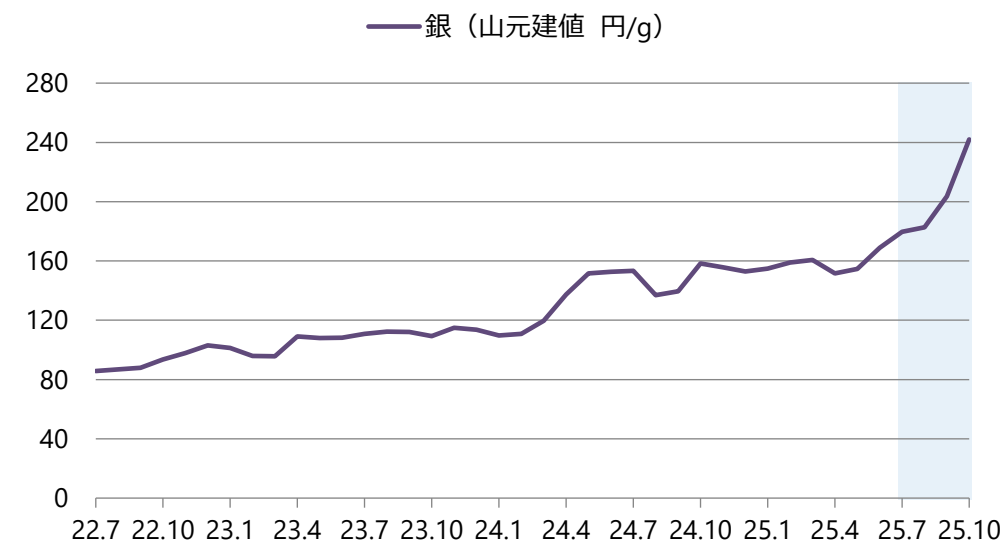
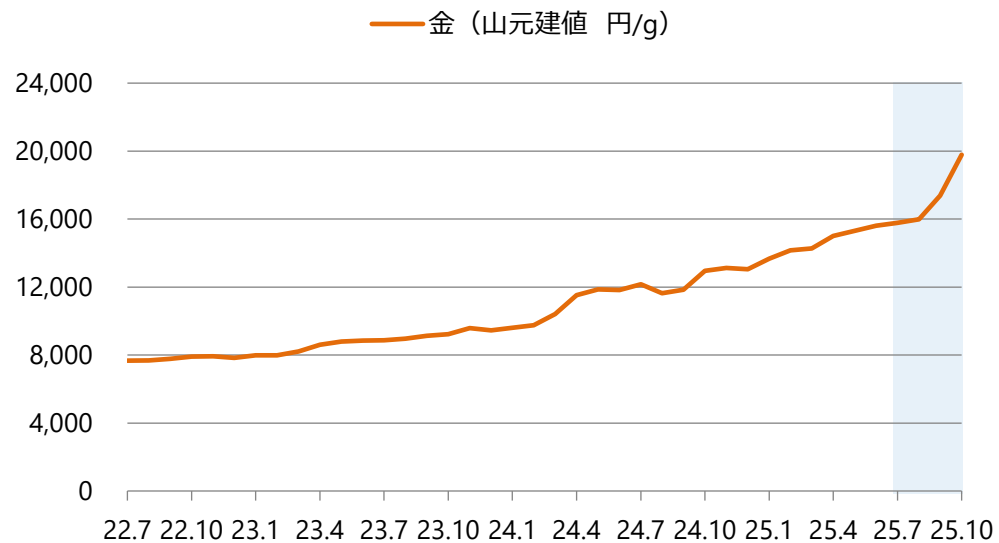
<中期経営計画（2022～2025年度累計）に基づく、キャッシュ・アロケーションの想定>



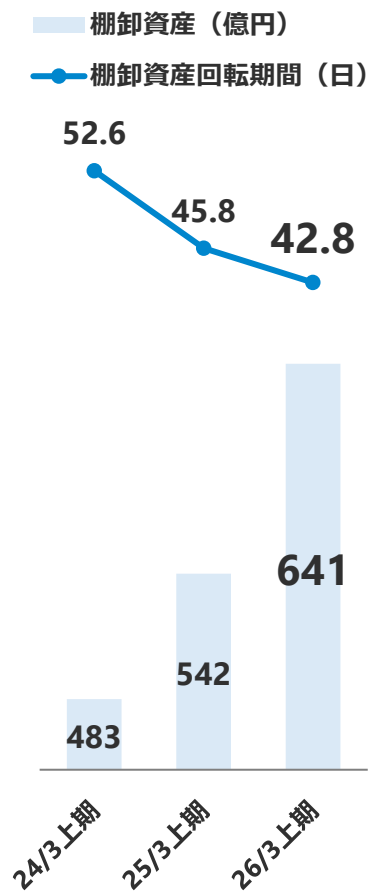
Appendix



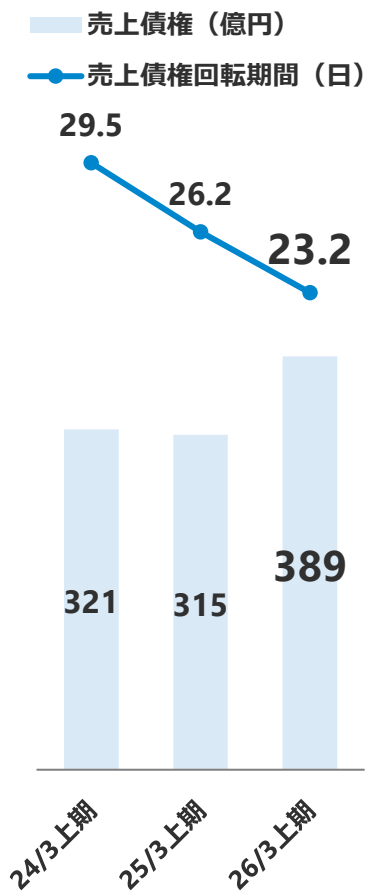
松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.



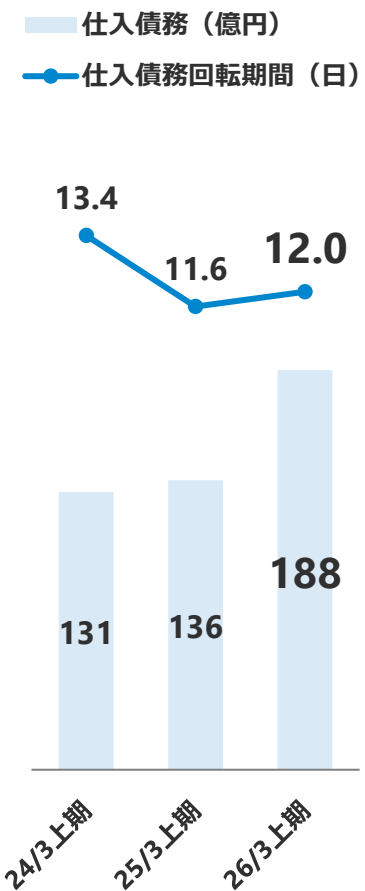
棚卸資産



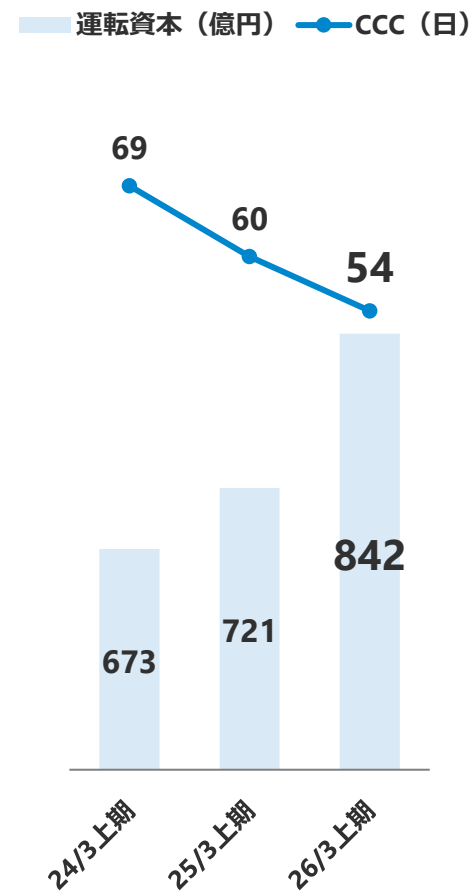
売上債権



仕入債務



CCC



*1 棚卸資産回転期間 = 棚卸資産(期首・期末の平均) ÷ 売上原価 × 183
 *3 仕入債務回転期間 = 仕入債務(期首・期末の平均) ÷ 売上原価 × 183

*2 売上債権回転期間 = 売上債権(期首・期末の平均) ÷ 売上高 × 183
 *4 CCC(Cash Conversion Cycle) = 棚卸資産回転期間 + 売上債権回転期間 - 仕入債務回転期間



松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.